

平成29年度 社会福祉法人成仁会事業計画

1 運営方針

社会福祉法人制度改革が4月から実施されます。

社会福祉法人が「含み資産を多く抱えている」と社会問題になり、社会福祉法人も課税すべきではないかとの議論が浮上、その経過として今回の制度改革に繋がりました。

公的資金を投資しているにも拘らず①理事・評議員・監事による牽制が行き届いてない②現況報告や会計報告が開示されてない③含み資産の健全な利用計画が無い④社会福祉法人なのに地域密着サービスが取込めて無い等の指摘が上がり、改革案は長い期間検討され、いよいよもって今期実施に至る事になりました。

昨年11月頃から所轄庁の指導により定款の改定等進めて参りましたが、監査法人の設置は年間収入30億以上の法人に今年度は定められ、社会福祉充実計画の提出も再投下可能な財産所謂社会福祉充実残額も当法人は計上できず、該当されないため申請不要となりました。しかし今後も社会福祉法人に対する第三者の厳しい指摘は続くものと思われ、年収規模も徐々に縮小されるのは明らかで、引き続き法人の一層の透明化への指導が図られて来るのではないかと推測されます。

当法人は過去12回の決算が行われ、黒字と赤字の決算が半々になっております。

理由は都度、理事会・評議会で説明し承諾を経て参りましたが、開設当初からの損失を埋めきれないままにグループホームや特養増床の設備投資を展開して参りましたので、設備投資が完了した今年度からは絶対的に収益を計上して行かなければなりません。

出来れば毎年度30M以上の経常利益を計上し、3年～5年の間に累損を一掃して参りたいと考えております。

環境的には、一昨年改正された介護保険改正の影響で、大きく減収する事業者が増え、平成28年度決算では全国の特養の30%が赤字に転落しました。また、インターネットでは民間の老人介護施設の売却や営業中止の情報が多く掲載されております。

名古屋市内の同業者によると昨年からは始まった特養の介護度入所制限による影響か、特養の待機者数がいなくなり空室が出始めているとの事です。

メドック東浦はそのような環境での再船出となりましたが、今回の設備投資で法人の基盤がようやく固まりましたので、これからは職員と共にこの荒波を乗り越えて進んで参りたいと思っております。

また、福祉医療機構の指導の下、健全な財務体質に改善できるよう努力して参ります。

残念ながら昨年9月9日に逝去されました、故吉田均理事長にご心配をおかけしたままのお別れになってしまった事が、大変悔やまれて已まないという思いですが、今後の成仁会発展をお約束し、故吉田均理事長のご冥福をお祈り申し上げたいと思っております。(合掌)

それでは平成 29 年度の事業別報告を申し上げます。

- (1) デイサービスは、土曜日運営が定着して参りましたが、その分平日利用者数が落ちてしまった為、当初目論見通りの収益が期待できない状況に陥りました。
比較のお元気なお客様が多いので、飽きられると利用を止めるか他施設に行くかの競争になっております。大幅な導引を図るにはご利用者の多岐にわたるニーズを掴み対応できる体制を作らなければなりません。ご利用者様の選択によるサービスコースを幾つか用意して平日の稼働率アップに尽力します。
設備面では今期「インカム」を導入し情報の共有化と応援体制の拡充を行います。
- (2) ショートステイはお客様の情報が入りづらい難しさと、個別サービスも多く事故が比較的多く発生します。また、情報の習得も忙しさを事由に軽視気味になります。職員の日常業務の簡素化を図るため、デイ同様「インカム」を早急に導入して情報の共有化を図り応援体制の拡充を行います。
- (3) 特養は介護度 3 以上のお客様が基準となりますので相応の医療に関する知識と技術が介護職員に求められます。「法人研修」や最近教育研修室長が始めた「スキルアップ 15」は基より看護師の協力を経て知識向上に邁進して参ります。また、昨年からはじめましたご家族様への「一言メッセージ葉」や各フロア毎に開催する「団らんかい」等による家族コミュニケーション方を強化します。
また、ロボット助成金をもらい「眠りスキャン」のマットを導入、ご利用者様の覚醒スキームを研究し日常業務スケジュールに反映して参りたい。
- (4) キッチンは将来的に現場調理を考えて参ります。
業務委託費に係る財務上の負担が大きく、これが実現できれば大きな経費節減が期待されます。当面は委託業者にお世話になりますが、実際に現場調理している施設を見学し体制を図って参ります。
- (5) メドックガーデンビレッジ緒川の GH は、人気上々で開所来満床を継続しております。このまま現状を維持して参りたいと思います。

美活デイサービスは高い稼働率を維持しておりますので、このまま現状維持して参りたいところですが、相談員が産休に入る為体制を考えて参ります。

脳活デイは定員数が少ないので入院が入ると稼働率は落ち込みますが、今の所高稼働率となっておりますので維持して参りたいと思います。

居宅介護支援事業所は総員 5 名ですが、今後も東浦町役場や知多北部広域連合、包括支援センターと親密化を図り互いに助け合いながら成長して参りたい。

事業所保育所はニチイ学館への業務委託しておりますが、今後は自営できるよう努力して参ります。

- (6) 総合事業の開始を計画しております。採算重視で考えますが、社会福祉法改正に寄与するもので、地域密着の目玉事業になります。要支援者の介護保険からの排除を補填する為の受入事業になりますので、相当予算が絞られますが、将来的にデイサービスの利用者に直結するものなので対応して参ります。

今期の重点施策は以下の 10 項目です。

- (1) 収支改善
- ① 収入
 - ア. 事業別稼働率の維持向上
 - イ. 助成金・寄付金の導入
 - ウ. 加算項目の取得と維持
 - エ. 空室の早期対応とショートの利用強化
 - ② 支出
 - ア. 経費節減運動の強化
 - イ. 年間賞与の支給割合削減
 - ウ. 給与基準の見直し
- (2) 医療行為－医療行為に関する公的研修の参加と看護による研修指導。
- (3) 居宅介護支援事業－東浦町役場・知多北部広域連合・包括支援センターとの親密化
- (4) 保育事業－ニチイ学館から自営の準備
- (5) 法令遵守・拘束・虐待・感染対策－法人研修にて強化
- (6) 人事－介護人員不足の解消と地元高校生活指導員へのアプローチ
- (7) キッチン－業務委託から現場調理への移行準備
- (8) 処遇改善交付金－新しい処遇改善交付金についての配布方法検討
- (9) ショートステイ－インカム 5 台導入
- (10) デイサービス－インカム 13 台導入

2 ご利用者の生活

(1) 環境

居室には入居者がふだん家庭で使われていた家具をご持参いただき、入居後も引き続き従来の生活が継続できるよう、利用者一人ひとりに合わせた生活感と潤いにあふれた環境づくりに努めます。

又、リビングにはユニット毎にキッチンを配備し、ご飯の炊き上がる匂いや味噌汁の匂いを感じていただき、家庭とのギャップを感じないように、あたたかでアットホームな環境づくりを目指します。

ご利用者は毎日リビング内でなじみの関係を持たれますが、時にはセミパブリックスペースで、ユニットを超えた利用者相互の交流も深めてまいります。

また、地震対策・風水害対策にも十分な配慮をして参ります。

(2) 機能訓練(相談・助言)

ノーマライゼーションを基本に、あたたかい愛情のもとに家庭的な環境の中で、心身の健康保持と機能の回復、自己実現を尊重する介護に努めます。

更に機能訓練指導員のもとに機能訓練計画書をたて、個々の状態に合わせて機能訓練を実施して参ります。機能訓練と共に整体師の施術により機能維持向上を図ります。

各ユニットと協力して機能訓練計画書の実施・見直しを3ヶ月ごとに行い、その方にあつた機能訓練を向上して参りたいと思います。

(3) 食事

食事は利用者の好みに合わせ、自分の好きな時間にゆっくり食べていただき、職員と利用者が一緒に準備や、食事をとることで生活を共にするというより家庭に近い関係が実感できると思います。

熱量及びたんぱく質・脂肪・カルシウム等の摂取状況に留意し、利用者の身体状態に応じた栄養指導や季節に応じた行事食を取り入れながら、残食のない楽しい食事ができるよう配慮します。

また、嚥下の状態に注意して軟菜食・やわらか食・ミキサー食などあらゆる対応を実施検討して参ります。

(4) 入浴

各ユニット間の連携を保ちながら、一人の職員が一人の利用者を全てサポートし、利用者のペースを保ちながらのんびりとお風呂を楽しんでいただきます。

移動・移乗に困難な利用者には二人の職員で対応し出来るだけ一般の浴槽を使用します。一般の浴槽が困難な場合には特殊浴場で入浴していただきます。

(5) 排泄

時間でトイレ誘導するのではなく、利用者のトイレに行きたいというサインを見逃さず、その都度、声かけをしながらトイレ誘導をし、自立への支援を促します。

特に排泄にあたってはプライバシーに注意して、利用者の尊厳を守り排泄セット等利用し他者に気づかれないよう工夫して参ります。

(6) 就 寝

就寝時間を限定せず、利用者一人ひとりに応じた生活を確保し、やすらかな眠りを築けるように配慮します。

特に日中の過ごし方に注意を払い、出来るだけ運動や日差しを浴びる時間を作り、日中深い睡眠にならないよう声をかけ一般的な夜間就寝を目指して参ります。

夜間は2ユニットに1名以上の介護者を従事させ対応いたします。

また、異常事態に備えて看護師の夜間待機を当番制で決めます。

3 健康管理

利用者の状態を的確に把握し、嘱託医と常に連携をとり、疾病の予防に努めます。

- ・施設内に「特別養護老人ホームメドック東浦診療所」を開設

(1) 嘱 託 医

名古屋市昭和区安田通四丁目3番地

医療法人 メドック健康クリニック

院 長 吉 田 亮 人

主な業務 入所者の診療及び健康チェック

入所者の健康相談

入所者に対し、医学的管理下における療養指導

入所者の緊急時における指導・助言

施設内における保健・衛生管理指導、ほか

診療科目 内 科

診 療 日 週1回 午後2時～4時

往診医師 野本 周嗣

(2) 協力病院

《緊急指定病院》

- | | |
|----------------|-----------------|
| ① 西知多総合病院 | 東海市中ノ池三丁目1番地1-3 |
| ② 刈谷豊田総合病院 | 刈谷市住吉町5丁目15番地 |
| ③ 半田病院 | 半田市東洋2-29 |
| ④ 国立長寿医療研究センター | 大府市森岡町源吾36-3 |

*①②③は自動更新、④は未更新

《主な受診病院》

- ① まつおか整形外科
- ② あべ内科クリニック
- ③ 前田クリニック
- ④ 二村医院デンタルクリニック
- ⑤ はま皮膚科クリニック
- ⑥ 東浦医院
- ⑦ ひだかこどもクリニック
- ⑧ 佐藤内科クリニック

4 防災計画

火災、地震、その他の災害に対して、利用者の安全を確保するため、次の訓練を行う。

- (1) 防災教育
- (2) 避難訓練（年間2回程度）
- (3) 緊急連絡訓練
- (4) 消火訓練
- (5) 夜間避難訓練
- (6) 地震訓練（年1回）

5 会議の開催

施設運営の円滑のため、諸会議・委員会を開催し協議を行う。

- (1) 入所判定委員会
- (2) 事業部会議
- (3) ユニットケア委員会
- (4) 食事委員会
- (5) 安全対策委員会
- (6) 研修福利厚生委員会
- (7) メドック祭り実行委員会
- (8) 感染予防委員会
- (9) 介護サービス向上委員会
- (10) 労働安全委員会
- (11) フロア会議
- (12) 褥瘡対策委員会
- (13) 経営会議
- (14) 身体拘束防止委員会

6 職員研修

介護保険施設において必要な知識・技術の向上を図るため、職員に対し随時、研修の機会を提供し、介護現場等での更なるスキルアップに繋げていく。

- (1) 法人施設内研修(月2回開催)
- (2) スキルアップ15研修（毎月第3週 毎日14時・15時から各15分間開催）
- (3) 全対策・労務管理研修
- (4) 法令遵守・拘束・虐待防止・看取り等社会福祉法に定められた研修
- (5) その他適宜認知症等の外部研修参加

7 地域福祉活動の取り組み推進

- (1) 行政機関及び地域社会福祉事業への相互協力
- (2) ボランティアの受入と福祉教育の推進
- (3) 地域防災活動への協力

8 経営・管理

- (1) 業務の合理化、効率化の促進と経費の削減に努める。
- (2) 健全・信頼維持に向けた体制の強化
 - ※介護サービス情報の公表と評価
 - ※福祉サービス苦情解決制度の設置（第三者委員の選任）
 - ※HP等による財務諸表の掲示
- (3) 介護サービス職員の人財化
 - ※人材の定着と育成
 - ※介護サービス現場の活性化
- (4) 職員の健康管理の徹底
- (5) 個人情報の保護体制の強化と認識の徹底
- (6) 施設指針の整備

《日 課》

ご利用者一人ひとりの暮らしのペースに合わせ、自分の家と同じような雰囲気でも過ごしていただきます。入浴時間は午前、午後ともに行います。

(特養・デイサービス)

6:00	起床（自由） モーニングケア（バイタルチェック）
7:00	朝食（利用者の希望に応じる）、服薬
8:00	シーツ交換
9:00	入浴
10:00	各種行事（レクリエーション他）、機能訓練
11:00	
12:00	昼食（利用者の希望に応じる）、服薬
13:00	入浴
14:00	各種行事（レクリエーション他）、機能訓練
15:00	おやつ
16:00	
17:00	
18:00	夕食（利用者の希望に応じる）、服薬、口腔ケア、 バイタルチェック
19:00	
20:00	
21:00	就寝（自由）

(事業所内保育所)

平 日		土曜日	
時 間	活 動	時間	活 動
8 : 00	順次登園・検温 室内で自由遊び	8 : 00	順次登園・検温 室内で自由遊び
9 : 30	おやつ・授乳	9 : 30	おやつ・授乳
9 : 50	午前睡 (0 歳児)	9 : 50	午前睡 (0 歳児)
10 : 00	朝の会 出席確認・歌	10 : 00	朝の会 出席確認・歌
10 : 30	月齢・個々の発達に応じた設定保育 戸外遊び・お散歩 (近隣の公園に 行きます) 制作・絵画等	10 : 30	設定保育 戸外遊び・お散歩
11 : 00	食事・授乳・離乳食 (0・1 歳児)	11 : 00	食事・授乳・離乳食
11 : 30	午睡準備 (0 歳児)	11 : 30	午睡準備 (0 歳児)
11 : 45	午睡 (0 歳児) 食事 (2 歳児)	11 : 45	午睡 (0 歳児) 食事 (2 歳児)
12 : 00	午睡準備 (1 歳児)	12 : 00	午睡準備 (1 歳児)
12 : 15	午睡 (1 歳児) 午睡準備 (2 歳児)	12 : 15	午睡 (1 歳児) 午睡準備 (2 歳児)
12 : 30	午睡 (2 歳児)	12 : 30	午睡 (2 歳児)
15 : 00	起床・検温 着替え	15 : 00	起床・検温 着替え
15 : 15	おやつ・授乳	15 : 15	おやつ・授乳
16 : 00	順次降園準備・降園 室内で自由遊び・戸外遊び・絵本 読み聞かせ等	16 : 00	順次降園準備・降園 自由遊び・戸外遊び等
19 : 00	閉園	19 : 00	閉園